

講義名	研究演習 (全学部)		
講義コード	15201	授業形態	
担当教員	伊藤 淳	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 5時限
		演習分野	SEM250

学部・学科	演習分野
全学部・学科	健康スポーツ学

概要説明
 スポーツにおける「コーチング」を、理論と実践の両面から探究します。コーチング理論やコーチング哲学、コーチと選手の関係性等について学び、さらにコーチング実践に取り組むとともに、質問やフィードバック等のコーチングスキルを実践的に学びます。その上で、コーチがどのように戦術やデータを活用し、コーチングに活かしているのかを考察します。

主な卒業論文のタイトル

- ・硬式野球と軟式野球の比較について -スポーツにおけるメディアの重要性- 指導者の責務
- ・スポーツと社会人基礎力の関連
- ・ナイキとアディダスの経営戦略について
- ・ソフトテニスアジア大会について
- ・バレーボールにおけるレセプションの返球率とスパイクの決定率の関係性について
- ・サッカーの得点の時間帯が勝敗に与える影響について
- ・ターンオーバーとリバウンドの数が、勝敗へ及ぼす影響について
- ・卓球における日本と中国の強化策の比較について
- ・ドーピングについての意識調査
- ・バスケットボールにおける日本とサンアントニオ・スパースの戦術の違い
- ・バスケットボールシューズにおけるメーカー毎での比較
- ・軟式野球における戦略上のバッテリーの役割

教員からの要望

当たり前のことを当たり前に行えるようにしてください。
 セミ活動へも積極的に参加して下さい。
 結果には、原因があります。結果を受け止め、原因を改善し、さらに向上しようと努力しましょう。

選考方法

演習申込書および面談。

評価方法
・課題、レポート：30% ・プレゼンテーション：30% ・授業への参加姿勢：40%

到達目標・成果物

- 【到達目標】
- ・コーチングの理論・手法を理解し、説明できるようになる。
 - ・コーチング理論を基に、自らのコーチング観を形成できるようになる。
- 【成果物】
- ・コーチング理論に関するレポート
 - ・自らのコーチング観をまとめたプレゼンテーション資料および発表

教員英字氏名	研究室
Jun Ito	研究棟 1階 119

最終学歴
 筑波大学大学院 体育研究科 コーチ学専攻 修士課程

学位
 修士(体育学)

主な研究活動・社会活動・研究業績

- バスケットボールにおける戦術分析、コーチング。
- 翻訳
 著者は強者に優る
 ビート・キヤリルのコーチング哲学― 共著 2011年4月30日 株式会社晃洋書房
 バスケットボールにおけるチームビルディングについて ―天理大学男子バスケットボール部のオフenseビルディングに着目して― 2012年7月 流通科学大学教養センター紀要 第2号
 R 大学男子バスケットボールチームにおけるスカウティング活動に関する研究 2015年3月 スポーツサイエンス (vol9-1)

趣味・特技

写真撮影、散歩。

所属

経済学部 経済学科

所属学会

- 日本体育学会
- 日本コーチング学会
- 身体運動文化学会

専門分野

コーチ学
 スポーツ学

担当科目

- スポーツ科学演A/B/C/D
- スポーツ科学
- 専門基礎演習
- 研究演習
- 研究演習
- 卒業研究

備考

実務経験の有無及び活用

実務経験なし